

ビニールを外しているパイプハウスの除雪対策について

(豪雪地帯の知見・経験則を参考に作成)

会津農林事務所

経験のない大雪により、ビニールを外しているパイプハウスでも、肩部パイプ以上に積雪がある場合は、融雪時の雪の沈み込む力により骨材が変形する可能性があります！

【骨材の変形の可能性】 写真参照→

- 横からの雪の圧力により、a図のとおり、最初は縦に細く尖ったように変形する可能性あり
- 肩部パイプの雪が沈み込む際に、b図のとおり、M字に変形する可能性あり

※積雪・融解による圧密の繰り返しで氷上層が形成されていると沈降力の影響は大きくなる



【除雪対策】 写真参照→

- 肩部パイプが見えるまで掘る(最優先)
- 既に骨材が変形している(曲がり)箇所は、更なる変形を防止するため早めに排雪する

※留意点

除雪作業は一人では絶対に行なわないこと
除雪後に積もった雪は「かんじき」などで踏むとよい



ポイント！

排雪場所がなければ、ハウスの中に雪を排雪する。

除雪後、露出された骨材が太陽熱により暖まり、骨材周りの雪の融解促進になります。
←この程度の除雪でも効果がある。